

令和7年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率について公表します。

令和7年度決算に基づく本市の各指標は、令和6年度と比較して実質公債費比率については0.4ポイント(令和6年度数値6.9%)増加し、将来負担比率については5.3ポイント(令和6年度数値76.1%)増加しましたが、いずれも基準を下回ることができました。今後も計画的な財政運営により健全財政の確保を図ってまいります。

○ 健全化判断比率 (単位: %)

区 分	令和7年度決算に基づく比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－ (-2.95)	12.71	20.0
連結実質赤字比率	－ (-12.24)	17.71	30.0
実質公債費比率	7.3	25.0	35.0
将来負担比率	81.4	350.0	

※ 実質赤字比率、連結実質赤字比率については、実質赤字額、連結実質赤字額がないため、「－」と表示し、参考として括弧内に黒字の比率をマイナス表記しています。

○ 資金不足比率 (単位: %)

会 計 名	令和7年度決算に基づく比率	経営健全化基準
工業団地造成事業特別会計	－	20.0
下水道事業会計	－	20.0
水道事業会計	－	20.0

※ いずれの会計も資金不足額がないため、「－」と表示しています。

喜 多 方 市 令 和 7 年 度 健全化判断比率等の状況				比率の状況	実 質 赤 字 比 率		実質公債費比率						
					(早期健全化基準) (%) (12.71)	—	決算額(単位:千円、%)		左の内訳				
					連結実質赤字比率	(早期健全化基準) (%) (17.71)	令 和 7 年 度	令 和 6 年 度	令 和 5 年 度	④の内訳			
					実 質 公 債 費 比 率	(早期健全化基準) (%) (25.0)	7.3	1,089,781	978,825	907,917	上位3事業	決算額(単位:千円)	
					将 来 負 担 比 率	(早期健全化基準) (%) (350.0)	81.4	2,470,839	2,394,358	2,347,835	下水道事業会計	456,006	
								0	0	0	水道事業会計	38,492	
								0	0	0			
								494,498	505,526	498,656			
								234,276	196,119	208,847			
								1,125	1,678	61,221			
								0	0	0			
								2,110,957	2,118,856	2,208,642	⑥の内訳	決算額(単位:千円)	
											上位3事業		
								30,276	20,628	85,505	大規模林道交通安全費県費国庫金償還額に対する助成 1,125		
								224,161	227,069	258,438			
								1,829,380	1,842,436	1,831,738			
								27,140	28,723	32,961			
								13,833,904	13,523,214	13,207,498			
								6,629,281	6,541,229	6,536,251			
								9,285,314	9,039,972	8,712,635			
								0	40,241	81,749			
								2,080,691	2,098,228	2,123,137			
								7.87761	7.23811	6.87425			
								7.3%					
将来負担比率													
				区 分		決算額(単位:千円、%)				左の内訳			
										③の内訳		決算額(単位:千円)	
										上位3事業			
										下水道事業会計		6,210,514	
										水道事業会計		300,070	